
いなし魚

村雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いなし魚

【著者名】

村雲

N9832T

【あらすじ】

銀河。変態。明日の事。魚も溺れる。

今は終わりではない

これは終わりの始まりでさえもない

しかし、これはきっと

始まりの終わりである

と誰かが言った

でも僕にとって重要なのが

その言葉には無いと知った

と僕が言った

始まりがあるから終わり

終わりがあるから始まる

鶏が先か卵が先か

と誰かが言った

奴はそれを

何らかのジレンマと勘違いしている

だから夜が明けても

昨日の繰り返し

それはわかつたけど

じゃあ昨日を知るから今日があるの

今日を経たから昨日ができたの

僕はそれを

何らかのジレンマと勘違いしている

だから今日も

四足歩行をやめない

と君が言った

例えば僕や君やそういう

コオロギの足も

地球の丸

昨日みた夢や

つぶらられた神

僕らの知る色彩のすべて

その全てがひとつ生命体だとしよう

と誰かが言った

だとしたら僕らは

血や肉、眼球や心臓

白血球とか赤血球とか

もしかしたらただの

Hンドルフインみたいな伝達物質
と君が言った

なら僕らが崇めてる神はその生命体

言つなれば僕ら自身

昨日も今日も明日も前後左右関係ない

生命体が在るから僕らが生きてる

と僕が言った

でもそれなら

神が僕らをつくったか

僕らが神をつくったか

とニラジレンマ

と君が言つた

それはつまり

鶏が先か卵が先か

つてことだらう

と誰かが言つた

でも僕にとつて重要なのが

その言葉には無いと知つた

と僕が言つた

男は“何故？”と聞きたそうな顔をしている

とナレーションが言つた

そもそもこの例え話はおかしいよ

どうかして

と僕が言った

そうかな

僕はとても面白かった

この世界が僕中心に廻ってる事が

なんとなくわかったんだ

と僕が言った

今は終わりではない

これは終わりの始まりでさえもない

しかし、これはきっと

始まりの終わりである

例えば僕や君やそいつ

コオロギの足

地球の丸

と僕が言った

人がひとり“意味がわからない”と言った

言いたそうな顔をしている

とナレーションが言った

そして“そんな事どうだつていい”と

言いたそうな顔をしている

と僕が言った

君はそれを

何らかのジレンマと勘違いしている

双魚が如何にして万物を知ったかなんて

関係ないんだ

だつてそうだろ

文字に溺れて

愛と勇気が友達で

地球は丸

そして僕らは今日も

四足歩行をやめない

それだけの事だろ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9832t/>

いない魚

2011年10月3日22時52分発行